

第7章 単元選択機能の操作

高齢者用文書作成練習ソフトは、学習課題ごとに単元を選択して、文字入力や各種コマンドの操作を個別に練習する単元選択機能を有します。

各単元では、操作手順を学習することが目的ですので入力可能キーや打鍵順が限定されており、正しいキー以外は入力できません。

この機能を用いて単元選択型訓練を行う場合は、メインメニューで訓練段階 I を選択します。

1. 単元選択メニュー画面

メインメニューで訓練段階Ⅰを選択するとマスクボードの確認メッセージ後、図7-1のような単元選択メニュー（イメージ）が表示されます。

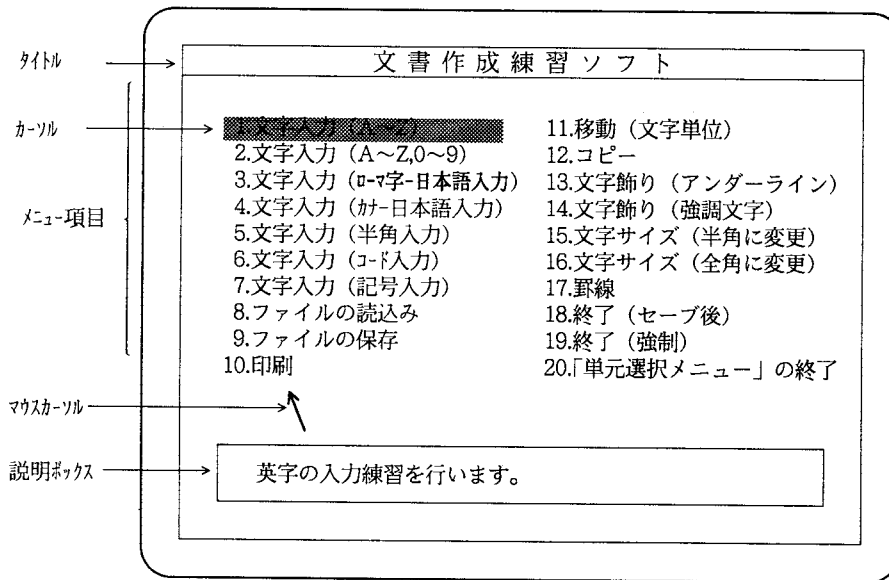


図7-1 単元選択メニューの画面

各部の名称と内容は次の通りです。

- ・タイトル : 高齢者用文書作成練習ソフトのソフト名を簡略体で表示しています。
- ・メニュー項目 : 単元名を表示します。
- ・カーソル : 選択を行っている項目を示します。
- ・マウスカーソル : マウスの動きに従って移動します。
マウスポインタと呼ぶ場合もあります。
- ・説明ボックス : カーソル位置のメニュー項目（単元名）の目的を表示します。

2. 単元の実行フロー

単元は、通常、つぎの流れで実行されます。

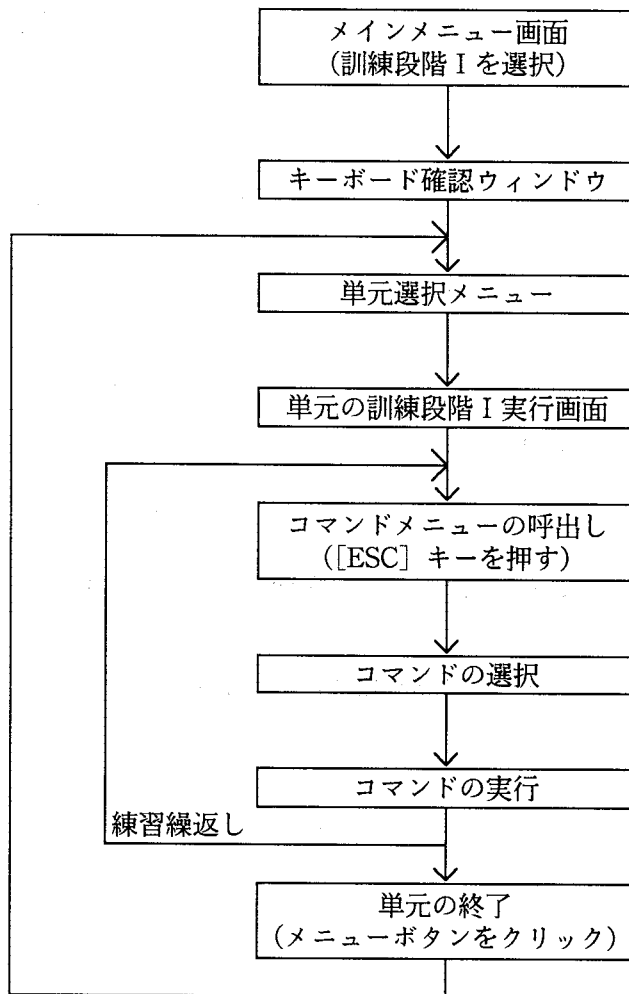


図 7-2 単元の実行フロー

- 単元は單元選択メニューの中から自由に選択することができます。
- 単元は必ず、文字入力モード（未入力状態）から実行されます。
- コマンドメニュー階層の後戻りはできません。
- 1つの単元で、一連の操作が終了した後、[ESC]キーを押せば同じ単元で再び同じ操作の練習を繰り返すことができます。
- 別の単元の練習に移る場合は、メニューボタンをクリックすることで單元選択メニュー画面に戻ります。

3. 単元の選択方法

単元を選択するには、キーボードで選択する方法とマウスで選択する方法があります。

① キーボードで選択する方法

2桁の数字キー（01～20）でカーソルを移動し、リターンキーを押して実行を開始します。

② マウスで選択する方法

マウスカーソルを選択する単元に移動し、マウスの左ボタンをクリックすると実行を開始します。

4. 単元の終了

実行中の単元を終了するには、実行画面でメニューボタンをマウスでクリックします。単元を終了すると、単元選択メニュー画面に戻ります。

5. 単元選択メニューの終了

単元選択メニューを終了するには、単元選択メニュー画面で 20. 「単元選択メニュー」の終了を選択します。

単元選択メニューを終了すると、メインメニュー画面に戻ります。

6. 単元名と目的

選択できる単元の名称と単元の学習目的を表7-1に示します。

表7-1 単元名と学習の目的

No.	単元名	学習の目的
①	文字入力 (A~Z,)	英字の入力練習を行います。
②	文字入力 (A~Z, 0~9)	英字と数字の入力練習を行います。
③	文字入力 (ローマ字-日本語入力)	ローマ字による日本語入力の練習を行います。
④	文字入力 (カナ-日本語入力)	カナによる日本語入力の練習を行います。
⑤	文字入力 (半角入力)	半角文字の入力練習を行いません。
⑥	文字入力 (コード入力)	JISコードによる日本語入力の練習を行います。
⑦	文字入力 (記号入力)	記号の入力練習を行います。
⑧	ファイルの読み込み	文書を読み込む練習を行います。
⑨	ファイルの保存	文書を保存する練習を行います。
⑩	印刷	文書印刷の練習を行います。
⑪	移動 (文字単位)	文字単位の移動の練習を行います。
⑫	コピー (文字単位)	文字単位のコピーの練習を行います。
⑬	文字飾り (アンダーライン)	アンダーラインを引く練習を行います。
⑭	文字飾り (強調文字)	強調文字にする練習を行います。
⑮	文字サイズ (半角に変更)	文字サイズを半角にする練習を行います。
⑯	文字サイズ (全角に変更)	文字サイズを全角にする練習を行います。
⑰	罫線	罫線を引く練習を行います。
⑱	終了 (セーブ後)	セーブ後終了する練習を行います。
⑲	終了 (強制)	強制終了の練習を行います。

- ・文字入力を行う単元 (①~⑦) では、練習用文書を使用しません。したがって、白紙の状態から文字を入力する練習を行います。
- ・文字入力以外の単元 (⑧~⑱) では、練習用文書 (ファイル読み込み以外は1種類) を使用して、練習を行います
- ・単元⑧「ファイルの読み込み」では、複数の文書ファイルの中から読み込むファイルを選択する練習を行います。

7. 打鍵順

単元選択型訓練では、各単元に設定された流れに沿って入力が有効となるキーを限定します。有効となるキー以外が押されても機能しません。

つぎに、各単元の打鍵順を示します。

なお、表中の（ ）内は、入力可能キーが限定されますが、打鍵順は制御されないことを示します。

また、始点の指定、終点の指定のある⑪～⑰の単元では、練習用文書中の特定の文字や位置を限定しません。したがって、コマンドの機能としての範囲内で、どの文字でも、どの位置でも、実行します。

表7-2(a) 打鍵順

No.	単元名	打鍵順
①	文字入力 (A~Z)	カナキー OFF 確認 → (A~Z, スペース, リターン) <ul style="list-style-type: none"> ・A~Zは、半角大文字。 ・[BS] [DEL] [INS] で編集が可能。 ・[↑] [↓] [←] [→] でカーソルの移動が可能。 ※入力された文字を漢字等に変換することはできません。
②	文字入力 (A~Z, 0~9)	カナキー OFF 確認 → (A~Z, 0~9, スペース, リターン) <ul style="list-style-type: none"> ・A~Zは、半角大文字。 ・[BS] [DEL] [INS] で編集が可能。 ・[↑] [↓] [←] [→] でカーソルの移動が可能。 ※入力された文字を漢字等に変換することはできません。
③	文字入力 (ローマ字-日本語入力)	カナキー OFF 確認 → (ローマ字, スペース, リターン) <ul style="list-style-type: none"> ・入力されたローマ字は、ひらがなに変換されて表示し、変換キーで漢字等に変換することができます。ひらがなに変換できない文字を入力した場合は、ひらがなに変換を行いません(英字のまま)。 ・[BS] [DEL] [INS] で編集が可能。 ・[↑] [↓] [←] [→] でカーソルの移動が可能。
④	文字入力 (カナ-日本語入力)	[カナ] → (あ〜ん, スペース, リターン) → [カナ] <ul style="list-style-type: none"> ・入力されたかな(ひらがな)は、変換キーで漢字等に変換することができます。 ・[BS] [DEL] [INS] で編集が可能。 ・[↑] [↓] [←] [→] でカーソルの移動が可能。
⑤	文字入力 (半角入力)	[f・10] → (半角文字, スペース, リターン) <ul style="list-style-type: none"> ・[BS] [DEL] [INS] で編集が可能。 ・[↑] [↓] [←] [→] でカーソルの移動が可能。
⑥	文字入力 (コード入力)	かき OFF 確認 → [f・10] → [f・10] → (4桁の16進数値) → [リターン] <ul style="list-style-type: none"> ・リターンキーで確定。 ・[BS] で、入力した16進数値の編集が可能。 ※繰り返しコード入力するときは、[f・10] から入力します。
⑦	文字入力 (記号入力)	[f・10] → [f・10] → [f・10] → (↑, ↓, ←, →, リターン) <ul style="list-style-type: none"> ・リターンキーで確定。 ※繰り返し記号入力するときは(↑, ↓, ←, →, リターン)を入力します。

(次ページへ続く)

表7-2 (b) 打鍵順

No.	単元名	打鍵順
⑧	ファイルの読み込み	[ESC]→[T]→[L]→ (ファイルの選択) ・ファイルの選択は、[↑] [↓] で選択、リターンで読み込み開始。(複数のファイルから選択)
⑨	ファイルの保存	[ESC]→[T]→[S]→ (ファイル名の入力、見出しの入力) →[リターン] ・ファイル名は、A～Z、0～9、ア～ンで入力し (8文字以内)、リターンで保存開始。 ※実際には保存されません。
⑩	印刷	[ESC]→[P]→[P]→ (開始ページの入力、終了ページの入力) →[リターン] ・開始ページ、終了ページは省略可。
⑪	移動 (文字単位)	[ESC]→[M]→[C]→ (始点の指定) → (終点の指定) → (移動先の指定) ・始点、終点、移動先の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑫	コピー (文字単位)	[ESC]→[C]→[C]→ (始点の指定) → (終点の指定) → (コピー先の指定) ・始点、終点、コピー先の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑬	文字飾り (アンダーライン)	[ESC]→[E]→[U]→ (始点の指定) → (終点の指定) ・始点、終点の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑭	文字飾り (強調文字)	[ESC]→[E]→[E]→ (始点の指定) → (終点の指定) ・始点、終点の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑮	文字サイズ (半角に変更)	[ESC]→[N]→[H]→ (始点の指定) → (終点の指定) ・始点、終点の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑯	文字サイズ (全角に変更)	[ESC]→[N]→[K]→ (始点の指定) → (終点の指定) ・始点、終点の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。
⑰	罫線	[ESC]→[K]→ {(始点の指定) → (終点の指定)} →[ESC] ・始点、終点の指定は、[↑] [↓] [←] [→] でカーソルを移動しリターンで指定。 ※ [ESC] が入力されるまで繰り返し罫線を引くことができます。
⑱	終了 (セーブ後)	[ESC]→[Q]→[S]→ (ファイル名の入力、見出しの入力) →[リターン] ※実際には保存されません。 ※この単元は、単元終了後、単元メニューに戻ります。
⑲	終了 (強制)	[ESC]→[Q]→[E] ※セーブ済みのものを強制終了させる状況を演習させます。 ※この単元は、単元終了後、単元メニューに戻ります。

8. 練習用文書

単元選択型訓練では2種類の練習用文書を使用します。

練習用文書(1)は、おもに文書を加工する単元に使用します。練習用文書(1)を使用する単元は下記の通りです。

- ・⑧ファイルの読み込み
- ・⑪移動(文字単位)
- ・⑫コピー(文字単位)
- ・⑬文字飾り(アンダーライン)
- ・⑭文字飾り(強調文字)
- ・⑮文字サイズ(半角に変更)
- ・⑯文字サイズ(全角に変更)
- ・⑰罫線
- ・⑱終了(強制)

練習用文書(1)

総外第234 平成〇年6月1日		
山田 清二殿		
〒223 横浜市港北区高田町1-2-3 横浜物産 株式会社 TEL 045-987-6543		
商品見本送付のご案内		
拝啓 ますます隆盛のこととお喜び申し上げます。		
さて、6月8日付けにてお申込の下記の商品見本を同封いたしましたので、 ご査収くださいますようお願い申し上げます。 敬具		
記		
品番	商品名	数量
TA-1	中国産ウーロン茶	1袋(10g)
TB-1	中国産鉄観音茶	
TC-1	中国産杜仲茶	

練習用文書(2)は、おもに文書を加工しない単元に使用します。練習用文書(2)を使用する単元はつぎの通りです。

- ・⑧ファイルの読み込み
- ・⑨ファイルの保存
- ・⑩印刷
- ・⑱終了(セーブ後)

練習文書(2)

総外第234

平成〇年6月15日

山田 清二 殿

〒223 横浜市港北区高田町1-2-3

横浜物産株式会社

TEL 045-987-6543

商品見本送付のご案内

拝啓 ますます隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、6月8日付けにてお申込の下記の商品見本を同封いたしましたので、ご査収くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

品番	商品名	数量
TA-1	中国産ウーロン茶	1袋(10g)
TB-1	中国産鉄観音茶	1袋(10g)
TC-1	中国産杜仲茶	1袋(10g)